

# ◇歴史文化基本構想策定事業 関連講座◇

主催：大津市教育委員会文化財保護課・大津市歴史博物館

**歴史文化基本構想**は、地域に所在する様々な文化財を幅広くとらえ、総合的に保存・活用していくための構想で、平成24年から国が地方自治体にその策定を勧めてきたものです。

大津市でも、昨年からの構想の策定に向けて作業を進めています。耳慣れない「歴史文化基本構想」ですが、その目指す方向を多くの方に知っていただき、より内容のある構想につなげていきたいと考え、この連続講座を企画しました。

タイトル	これからの時代にふさわしい文化財の保存と活用の在り方について
日 程	平成31年 2月9日(土) 14:00~15:30
講 師	岡本 公秀 氏 (文化庁文化財調査官)
内 容	<p>現在、文化財保護行政は新たな局面を迎えています。地域社会の規模が縮小する中、歴史や文化が伝える地域の魅力やストーリーを再発見し、これにまつわる様々なものを文化財として捉え、保存・活用し、地域振興に役立てたり、観光に利用する取り組みが各地で進んでいます。</p> <p>本講座では、これからの時代にふさわしい文化財の保存と活用の在り方を、歴史文化基本構想の概略に、全国各地の先進的な取り組みの紹介を交え、ご説明します。</p>
タイトル	琵琶湖と暮らしをめぐる歴史文化 水城と町の繁栄(坂本城・大津城・膳所城)
日 程	平成31年 2月23日(土) 14:00~15:30
講 師	杉江 進 (大津市教育委員会文化財保護課主査)
内 容	<p>歴史文化基本構想は、地域の歴史文化の理解を深め、保存・活用を進めるために、関連する文化遺産をストーリーとしてまとめます。本講座では、その一つとして、琵琶湖岸に築かれた3つの城をとりあげます。いずれの城も琵琶湖を取り込んでいますが、坂本城と大津城が琵琶湖の水運と深く結びついていたのに対し、膳所城は軍事上の要害として琵琶湖を利用しました。このような城の性格を、築城の時代背景を手がかりに検討します。</p>

会 場：大津市歴史博物館 講堂(大津市御陵町2番2号)

[アクセス]京阪電鉄石山坂本線「大津市役所前」駅から徒歩約5分

JR湖西線「大津京」駅から徒歩約15分

[駐車場]約70台(無料) ※講座の日は混みあいますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加費：無 料

参加方法：講座当日の13時30分から、会場前で受付しますので、直接お越しください。

定員は各回100人(当日先着順) ※事前申込は不要です。

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2番2号

電話 077-521-2100